

上野国交替実録帳を読む

— 千年前の県政白書 —

前澤和之 著



はじめに

古代日本の政治の骨格となった律令制度、その下で京の中央政府と各地に置かれた国や郡では、その仕組みを動かすために多くの文書や記録が作成された。長い年月を経る間にそのほとんどは失われて、中央政府や寺社のものとしては正倉院（奈良市）に伝わる文書群などが知られるが、地方政治の実状を記した史料は稀にしか残っていない。本書でとり上げる平安時代後期の長元三年（一一三〇）に作られた「上野国交替実録帳」はその中の一つで、現在の群馬県地域に当たる上野国の政治と社会のあり方を私たちに伝える貴重な歴史遺産となっている。

そこに書かれた事柄を読み解いていくと、財政の状況をはじめとして、主要な寺社の運営、現在の県庁に当たる国府と市役所・役場に当たる郡家の現況など、これまで埋もれていた当時の上野国の政治とそれへの人びとのかかわりといった、地域の歴史像が浮かび上がってくる。そうした貴重な遺産の存在を広く知ってもらうため、本書の副題には平成二十五年（二〇一三）二月に開催されたシンポジウムに倣って「千年前の県政白書」を付けた。実際には県政全体の状況を要約した「白書」と名付ける冊子は公刊されていないが、県庁の様ざまな部署から出される行政資料や発信される情報、それらを総合するとこれに相当する内容を知ることができる。もちろん律

令制度においても「白書」は存在しなかったが、本史料を読みその作成過程を調べると、それぞれの国・郡の担当部署で多くの文書や報告書が作られていたことが明らかとなる。これをはじめとして、古代と現在の地方政治の仕組みでは共通する点が少なくないこともわかってくる。この副題には、それを知ってもらおう意味が込められている。

そうした本書の構成は、読者の方々の関心と理解を深めるために三部構成とし、第一部（第一・二章）では本史料が作成された背景を理解するために、古代の日本での政治の仕組みと上野国が占めた立場について述べる。第二部（第三～六章）では「上野国交替実録帳」とはどのような史料か、その作成と歴史遺産としての意義はどこにあるのかを知っていたくようにする。第三部（第七～十二章）では本史料の構成に従って読み進め、関係する遺跡の発掘調査の成果を含めて、千年前の上野国の政治と地域社会のあり様を探ってみる。「おわりに」では、本史料と現在の社会や私たちのかかわりを述べ、筆者が本史料にかかわることになった発端と四十年余に及ぶ取り組みを振り返ってみる。

本史料の全体を翻刻のうえ釈文として掲載するのが望ましいが、本書の目的と紙幅の関係で難しいこともあり、これについては『群馬県史資料編4 原始古代4』（一九八五年）に掲載したものと添付の写真版を参照していただくこととし、本書では必要な箇所本文の内容とかがわかる釈文を掲載した。

目次

口 絵

はじめに

目次

第一部 古代の政治と上野国

第一章 古代の地方政治…………… 3

1 律令国家の始まり…………… 3

2 律令政治の仕組み…………… 5

3 奈良時代の地方政治…………… 10

4 平安時代の地方政治…………… 14

5 摂関政治と地方の動揺…………… 17

第二章	上野国の政治と社会	20
-----	-----------	----

1	古代の上野国	20
---	--------	----

2	上野国の政治的位置	26
---	-----------	----

第二部 「上野国交替実録帳」について

第三章	「上野国交替実録帳」とは	32
-----	--------------	----

1	所在と由来	32
---	-------	----

2	形状と構成	34
---	-------	----

3	原文書書式の復元	40
---	----------	----

4	成立年代	44
---	------	----

第四章	律令文書としての性格	47
-----	------------	----

1	名称の変遷	47
---	-------	----

2 不与解由状説の検証……………51

第五章 記載されている内容……………57

1 「応在式数正税公廨雜稻加舉本類等無実事」項……………57

2 「年年交替欠穀類白塩未填無実事」項……………60

3 「神社并学校院厩像札服祭器雜物破損無実事」項……………61

4 「国分二寺諸定額寺仏像経論資財雜具堂塔雜舎并府院諸郡官舎破損無実事」項……………64

5 「国庫納仏経僧尼度縁戒牒破損無実事」項……………67

6 「田凶戸籍破損無実事」項……………69

7 「破損無実事」項……………72

第六章 作成過程の検討……………75

1 原稿の書き換え……………75

2 本史料作成の過程……………79

第七章 「上野国交替実録帳」と地方政治	82
---------------------	----

1 作成された時代	82
-----------	----

2 国司の職責意識	85
-----------	----

3 財政の状況	90
---------	----

第八章 国府と郡家の官舎	96
--------------	----

1 上野国府の様相	96
-----------	----

2 郡家の管理と監督	101
------------	-----

3 郡家の様相	107
---------	-----

第三部 「上野国交替実録帳」にみる地域社会

第九章 国分二寺項と上野国分寺	114
-----------------	-----

1 上野国分寺の創建と運営	114
---------------	-----

2	金光明寺項にみる上野国分寺	118
3	上野国分寺跡の発掘調査	123
4	金光明寺項からの検証	130
5	上野国分寺と地域社会	134

第十章 定額寺項と放光寺

1	定額寺項について	141
2	資財帳と不与解由状	143
3	記載内容の検討	146
4	定額寺としての放光寺	149
5	上毛野君氏と放光寺	156

第十一章 諸郡官舎項と郡家遺跡

1	佐位郡家の正倉院	159
---	----------	-----

2	新田郡家の郡庁……………	171
3	多胡郡家と多胡碑……………	185
第十二章 郡家と地域社会……………		
1	古代の佐位郡地域……………	194
2	古代の新田郡地域……………	202
3	古代の多胡郡地域……………	210
	おわりに……………	217
	主な参考・引用文献……………	224
	著者略歴……………	232